

先日、露木和男先生に神奈川県大磯丘陵のフィールドを案内していただきました。露木先生は理科教育の関係者なら知らない人はいない、教育者としても研究者としても著名な方です。また、フィールドでの自然に対する造詣は、まったく感嘆のほかありません。

この日は「ミドリシジミ」の観察に行きました。ミドリシジミは美しいシジミチョウですが、観察や撮影が難しいチョウとしても知られています。成虫で過ごすのは、6月上旬のせいぜい1週間ほどで、しかも晴れた早朝にしか飛びません。クヌギ、クリ、コナラなどの落葉広葉樹の林を好みますが、めったに姿を見せないのです。この日も一瞬木々の間を飛んだのを見たのですが、太陽光が乏しく、結局1枚も写真が撮れませんでした。

一か所目のミドリシジミはあきらめて、もう一か所の里山フィールドに行くことになりました。私はチョウの写真などほとんど撮ったことがなかったのですが、今回は重いデジタル一眼レフカメラを持参しました。高速連写ができるので、動きの速いチョウの撮影には有利だと思ったのです。

まずは比較的簡単な（初心者向きの）吸蜜中の「スジグロシロチョウ」を撮りました。最初はモンシロチョウだと思っていました。私としてはよく撮れていました。ただ、連写なので、あとから良いカットを選ぶのが大変です。この日は、すっかりチョウの写真撮影に魅了されてしまいました。

（2025 年 6 月上旬／神奈川県大磯丘陵）

